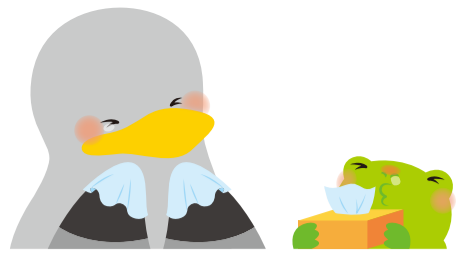


# 大船渡だより



地域のイベント

## 震災12年…新しいまちで

前夜までの風雨が嘘のように過ぎ去り、暖かな陽射しの中で心穏やかにその時を迎えることが出来ました。皆様のお祈りに感謝申し上げます。震災関連の報道が増えていく中で胸に響いた、陸前高田市の記事をご紹介します。



『新しい街で、後ろ向きで全力で走っている。』  
だんだん遠くなっていく、地中深くに眠る懐かしい街並みを見つめながら、後ろ向きでも全力で走り続けている。被災地で暮らす私たちの心情を言葉にするとこうなるのだと、それまでのモヤモヤした感情が薄れていくのを感じました。

忘れない、忘れたくない。何度も立ち止まりそうになったけれど、それでも、新しい街と共に生きてきました。どんな未来に向かっているかは見えないけれど、それでも、これからもがむしゃらに進んでいきます。

活動紹介

## カリタスみちのくの集い

3月18日(土)、『カリタスみちのくの集い』が石巻ベースを会場に開催されました。

カリタスみちのくは、日本のカトリック教会がオールジャパンの体制で、東日本大震災の被災地に作った8つのベース(ボランティアの拠点)のスタッフ有志が震災から10年の節目に、それまでの絆の継続と情報交換や研修、そして今後の災害に対応することを目的に設立された団体です。

今回は、「感謝、そしてこれから」と題し、初代石巻ベース長だった、現在札幌教区の佐久間川神父様をお招きして、震災直後に石巻ベースを立ち上げて支援活動を始めた体験談をお聞きました。今後の災害に生かしていこうと開催され、オンライン配信もされました。神父様のお話から学ぶことはとても多く、被災地支援はPlan,Do,See.ではなく、Doから始め、とにかくやってみようという姿勢が大切だというお話が印象に残りました。



前日から石巻ベースに宿泊して、みんなで集いの準備や広報紙の発送作業をしながら、和気あいあいとお互いの近況や各ベースの活動の情報交換をして、とても有意義な時を過ごしました。

地域のイベント

## あの日から12年、捧げる祈り

震災から12年を迎えた3月11日、カトリック大船渡教会では仙台から小松史朗神父様が来てくださり、午後1時30分から追悼と復興祈願のミサが捧げられました。祭壇には津波で亡くなられた5人の信者さんの名前が記された色紙と流した納骨堂に安置してあった12人の方々のお名前が記された色紙が置かれ、ご冥福をお祈りしました。



ミサが終わって午後2時46分、震災が発生した時刻に合わせて、市の防災のサイレンが鳴らされ、教会の鐘も鳴り響く中、それぞれの場所で心を合わせて黙祷を捧げました。

大船渡市民文化会館・リアスホールでは、震災追悼式が開催され、亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、未だ行方不明の方々の早期発見を願いました。今年是一般の参加も受け付けられ、行って献花をしてきました。幅広い世代の市民らが訪れ、静かに祈りを捧げていました。



大船渡市民文化会館・リアスホールでは、震災追悼式が開催され、亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、未だ行方不明の方々の早期発見を願いました。今年是一般の参加も受け付けられ、行って献花をしてきました。幅広い世代の市民らが訪れ、静かに祈りを捧げていました。



## 2023年2月の活動紹介

立春を待って今年もおひな様を飾りました。サロンでもおひな様を作り、厳しい寒さの中にも春の近づきを感じています。

スマホ相談室では、スマホだけでなくパソコンを持参して意欲的に取り組む姿が見られます。幾つになってもチャレンジする姿勢が素晴らしいです。

- 1日(水) 「ウサギのおひな様」作り
  - 3日(金) 「ただいま大船渡ツアー」支援 ファミリーサポート 子ども預かり
  - 4日(土) 「ただいま大船渡ツアー」支援
  - 8日(水) 「ウサギのおひな様」作り
  - 9日(木) 個人依頼 灯油補充
  - 10日(金) 元気度アップ教室
  - 14日(火) 海の星幼稚園 ほしっこクラブ
  - 15日(水) 個人依頼 灯油補充 「ウサギのおひな様」作り
  - 16日(木) 上山東アパートサロン 「ウサギのおひな様」作り
  - 22日(水) 個人依頼 パソコン相談
  - 27日(月) 個人依頼
- 〈その他の活動〉
- カリタス工房
  - カリタス絵手紙の輪
  - 玄関先訪問
- 〈毎週の活動〉
- 水曜日…手芸サロン・買物送迎
  - 木曜日…カリタススマホ教室 またはスマホなんでも相談室
  - 土曜日…買物送迎 中学生のための英語学習会



## 被災地に咲く花

～福寿草～

我が家の庭に春を告げる、福寿草の花が咲き始めました。黄金色が花が、お日様の光を浴びてキラキラ光っています。日が暮れたり、曇ったりすると花を閉じてしまう特徴があります。寒い時期に咲く福寿草は花の中の温度をなるべく高く保ち、数少ない虫をおびき寄せ、受粉させるチャンスを増やそうとしているからなのだそうです。



旧暦の正月の頃に咲き出すことから、元日草・ツイタチソウという別名もあります。キンポウゲ科の多年草で、名前からもわかるように、古くから福を招く植物として知られてきました。花言葉も「幸せを招く・永久の幸福」など縁起が良いものが多いようです。

江戸時代には春を一番に伝える花として『福告ぐ草(フクツグソウ)』と呼ばれていました、この名前が転じて『福寿草』となったのだそうです。開花期が長いことから長寿の意味も定着したと言われています。黄色のかわいい花を眺め、春の訪れを感じています。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

### 被災地見学を予定しておられる皆さまへ

下記URL・QRコードから、大船渡ベースの現在の活動内容をまとめたHPをご覧ください。被災地滞在中の貴重な時間をより有効に活用する為に、ご一読いただければ幸いです。(過去の活動の様子は、ブログのアーカイブにてご確認ください。)

(※一部のスマートフォンでは、文章の段落が崩れて表示される場合があります。)

### カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧ください。

●カリタス絵手紙の輪 … 随時参加者を募集しています。

●被災地見学のご案内 … ご希望の方はお問い合わせ下さい。



カリタス大船渡ベース

検索

★<https://sites.google.com/view/oohunatobase/>

ベースからのお知らせ

### 大船渡市の中心地の様子 (2023/3/11 撮影)



### ボランティア登録者数

男性 678人  
女性 1391人  
⇒ 合計 2069人

◆2月1日～2月28日  
ボランティア数  
男 性：0名  
女 性：0名

新型コロナウイルス感染予防の為、当分の間、ボランティアさんの受け入れを中止とさせていただきます。